

実施日時	令和 5 年 5 月 25 日 (木)			13:30-16:00
出席者	14 名	(内訳)	委員 7 名 (欠席 10 名)	代理参加 1 名
			主管課・事務局 6 名	オブザーバー 0 名

<p>1. 開会 司会進行 地域振興公社 伊藤係長 地域振興公社 伊藤係長 開会あいさつ パークマスター (以下PM) 野中委員 あいさつ 新しい委員の紹介 (生涯学習課課長、地域振興公社課長)</p>
<p>2. 報告：司会進行 地域振興公社 伊藤係長 報告第1号 クビアカツヤカミキリについて：地域振興公社佐竹主幹より説明 ・現在の被害状況 (被害木31本) カキツバタ試験栽培について：地域振興公社佐竹主幹より説明 ・状況 (育成は順調、開花確認) 報告第2号 ・カキツバタ園について：都市計画課島崎課長補佐より説明 ・工期 (8月末から11月30日) ・内容 (2500㎡、50cm掘削し、2,500本植栽) ・花桃植栽工事について：都市計画課須藤主幹より説明 ・工期 (桃まつり前までに完了) ・地名碑寄付について：都市計画課須藤主幹より説明 ・内容 (富士見塚の地名碑設置) ・PR関係について：都市計画課川出課長補佐より説明 ・内容 (ツイッター、インスタグラムの開始)</p>
<p>3. 議事：司会 地域振興公社 伊藤係長 協議進行 PM野中委員 議事第1号「城山下の水路浚渫について」 議事内容の説明：地域振興公社佐竹主幹より説明 ・古河公方公園の城山下の水路について、せせらぎA循環ポンプピットから橋まで、橋から石垣沿いに釣殿へ続く橋まで、釣殿へ続く橋から御所沼へ抜ける渡り石までを浚渫する。 【内容に関する意見】 ・浚渫した土は、道と杭の間の隙間に入れたい。 ・茶畑・梅林の肥料にするのもよい。 ・今後の計画を次回報告する。 ・乾燥させてから使用する。 【議決結果】</p>

- ・満場一致で可決

4. 討議：司会 地域振興公社 伊藤係長

協議進行 PM野中委員

討議第1号「御所沼 commons について」

討議内容の説明：地域振興公社佐竹主幹より説明

- ・御所沼 commons を作るにあたり、公共財としての公園を、市民協働で慈しみ、使い込み、公園が市民ひとりひとりのふるさととなることを目指すことを目的とした団体としての規則が必要であり、その会則に関する意見を募集する。

第1条（名称）について

- ・合意

第2条（目的）について

- ・古河公方公園における「ふるさと」について、定義したい。
- ・同じ場所で共に体験することで、集団としての共通の想いをその場所に持つことが出来る。その拠点が御所沼 commons（コミュニティ）となればよい。
- ・公園に来る誰もが公園で何かを行う際に、手を差し伸べてくれる開かれた仕組み（会）を作りたい。

第3条（事業）について

- ・事業という言葉に違和感がある。
- ・公園を有意義に活用して楽しむことが重要で、そういった活動がスムーズに行えるよう助言などでサポート（支援）をしていくのが commons として重要なこと。
- ・歴史を知る、ということをもう少し前面に出してもよい。
- ・集会室の確保（活動するための環境整備）
- ・規則を作ることから始めるのではなく、利用する人が話し合っ、みんなで公園を作っていくということが重要。
- ・ここでいう事業とは、公園が好きだから生まれる動きのことではないか。
- ・歴史的な出発点を大事にする。「御所沼」、「古河公方」など、歴史的な名前があり、桃林の由来も歴史的な背景がある。他の公園と違うのは、このような歴史的な景観も含めてそれらを保全していく、ということもこの中に含めたい。
- ・世界的建築家が関わった建築物が一カ所で二つも見る事が出来るのは素晴らしいことである。（観光的価値が高い）
- ・準則や目標を定めるだけでもよいのではないか。
- ・設置者、管理者との関係をどう作っていくかも重要。

第8条（会計）について

- ・会員の会費は、市民の参加に関するハードルが上がる可能性があり、今後の検討課題。

その他の意見

- ・市民の人がやりたいと思っていることをデータとして蓄積しておく。連絡ができる状態にしておくことが重要。
- ・活動できる場所、スペースが欲しい。

- ・一般の市民が要望を提案できる方法を確立してほしい。
- ・直接公園にやりたいことを提案し実施することと、コモンズというコミュニティを通して、ふるさとをつくることでは、意味が異なる。

第11条（その他）について

- ・LINEなどで情報伝達をするのもよい。
- ・広く情報が伝わった場合、公共施設なため、人が多すぎたり、問題行動を起こす人が来るリスクがある。
- ・SNSは本人の了解を取ったうえで登録してもらう。
- ・メール会員が基本的で簡単だと思う。

【討議結果】

出された意見を参考に整理し、次回以降も引き続き議論する。

討議第2号「花桃2,000本計画について」

討議内容の説明：地域振興公社佐竹主幹より説明

- ・花桃2,000本という目標に向けて、公園内で植樹する品種、間隔、場所を委員から募集する。

【意見】

- ・本数より見せ方を大事にしたい。
- ・2,000本の根拠について
 - ・10年前、密集して植えていた古河の桃林を「日本一の花桃の里2,000本」と銘打っていたことが根拠。
- ・本部前のあたりに密集感をだして植えたい。（木が若いからか密集感がない。）
- ・小高い徳源院跡から下の方を見たときに物足りないので、浄円坊のあたりに密集感を出して植えるとよい。
- ・サツマイモ畑が将来的に公園の敷地になると想定し、そのほかの部分併せて2,000本となればよい。
- ・若い花桃が多く、現在は見ごたえがないが、将来を見越して樹形を整えることで、見ごたえのある桃林を目指す。
- ・太くて樹形が悪い木は株にして、ひこばえを生やし、ツツジのように低く管理するのが良い。

【討議結果】

- ・部会設置
- ・メンバー：野中委員、川田委員、古谷委員、山本委員、岡田委員

討議第3号「観光拠点となるための整備事業について」

討議内容の説明について：地域振興公社佐竹主幹より説明

- ・国の補助金を活用して、古河市主導で地方創生の推進に関わる「古河市にぎわい創出プロジェクト」を計画しており、公園を活性化させる意見を募集する。

補足：都市計画課島崎課長補佐より説明

- ・期限は8月末まで

【意見】

- ・「〇〇の鐘」が欲しい。
- ・竹林を散歩できるようにしたい。（何かで活用したい。）
- ・民家園の庭を整備して風景としての質を上げたい。お金を掛けないように、日本風の庭（植栽など）を作りたい。

5. その他：司会 地域振興公社 伊藤係長

協議進行 PM野中委員

その他意見・提案

欲しいもの要望書・修繕要望書について：地域振興公社佐竹主幹より説明

- ・円卓会議終了後に回収

もりもりクラブ活動計画について：川田委員より説明

- ・2023年度の活動計画について

【意見】

- ・QRコードをインスタなどで発信してほしい。

牧野地口付近の藤棚について：地域振興公社佐竹主幹より説明

- ・牧野地口付近の藤棚が倒壊、撤去の予定。

【補足説明】野中委員より説明

トラエモン道の入口の藤棚が腐朽して倒壊。昔は周囲の木が小さかったので、藤棚として機能していたが、現在は周囲の木が高木になり、ベンチが日陰になった。藤棚自体の役割が終わったと考えてよい。そのため撤去してもよいと考えている。風景的にも美しくないし、藤棚がある必要性もない。

- ・委員の意見や反対もなく、撤去することで合意。

委員より意見や感想

- ・公園の冊子が作りたい。（歴史、建築、植物等）
- ・桃まつり期間中、歩くのに水たまりが多いので何とかして欲しい。
- ・トイレの改修、おむつ替えルームの追加
- ・桃まつり期間の変更（咲いている時期に、まつりの開催を検討。）
- ・公園の出口で、右左折の車線があるとよい。
- ・古民家を保存だけでなく、利活用を活発化させてほしい。
- ・新茶まつりについて報告

参加者2,000人（茶摘み404人、茶席60人など）。ツイッターやインスタグラムの効果からか、コロナ前よりも多くの参加者でにぎわった。

- ・ジェラテリアののぼり旗が色あせて見える
- ・ジェラテリアも日立駅のカフェのように入るのに時間がかかる人気スポットになって欲しい。
- ・建築を見に来る学生などに、来たかいたがあったなと思う、図面、エピソードなどを知ることが出来る工夫が欲しい。
- ・ジェラテリアの椅子のペンキをはがし、オリジナルの物を復元して欲しい。
- ・民家園を、門柱かざり作成の活動やその飾りつけの場としても使用したい。
- ・公方様の森の林床をここ数年間笹刈りを実施しているため、キンランが増えた。

・ナラ枯れで木を伐採した後の日当たりのよい場所に外来植物が生えるので、対策をしたい。

・管理棟のスロープの手すりを早くつけて欲しい

民家園藤棚について：生涯学習課神原係長より説明

・老朽化により撤去予定

・ベンチは新しく設置

【意見】

・フジを見に来る人がいるので撤去するのを考え直して欲しい。

・どうしてそうなったのか、経緯を確認し、納得できるよう説明してほしい。

SNS活用について：都市計画課川出課長補佐より説明

・#（ハッシュタグ）のつけ方で多くの人の目につく。

6. 閉会：司会進行 地域振興公社 伊藤係長

次回日程確認

次回は8月24日(木)を予定。提案は6月の22日までに事務局まで。

要望等は8月末まで

閉会のあいさつ